

日本でただ一つの  
火砕流被災校舎、  
その背後にそびえる  
雲仙普賢岳。

# 大野木場砂防みらい館

ここにあるのは実物。  
見る者を感動  
させずにはおかない。



国土交通省 雲仙復興事務所

# 入館者のみなさまへ



1991(平成3)年9月18日撮影 (September 18,1991)

大野木場砂防みらい館は、実物を見ることにより、火山と人々の暮らしについて理解を深めていただくために設けられた施設です。

火山噴火という形をとって自然が人間に見せたその力と、そこに暮らす人々との関わりの様子は、訪れる人たちを深く感動させずにはおかないでしょう。



# 大野木場砂防みらい館で見ることができるもの

## 1. (旧) 大野木場小学校被災校舎

大野木場小学校は、1991(平成3)年9月15日に発生した火砕流<sup>かさいりゅう</sup>によって焼失しました。この被災校舎をそのまま現地に保存してあります。

火砕流により一瞬で焼き尽くされた実物の校舎の内外の様子を見ることにより、自然の力の凄さを実感していただけるでしょう。



火山灰で覆われた校舎や体育館

1991(平成3)年9月18日撮影 (September 18, 1991)



焼き尽くされた教室。火砕流の恐ろしさを物語っています。

1992(平成4)年1月17日撮影 (January 17, 1992)

## 2. みらい館の展示と展望所

### ①館内の展示

大野木場砂防みらい館の地下1階(B1)と1階(1F)では、雲仙普賢岳<sup>うんぜんふげんだけ</sup>の噴火前の様子、噴火中の火砕流<sup>かさいりゅう</sup>や土石流の様子、溶岩ドームの現在の状況などを分かり易く写真パネルや映像(ビデオ)で見ることができます。また、プレートテクト



ニクス理論に基づく火山噴火や地震についてのメカニズムを解説したコーナーも設けています。

◀1993(平成5)年5月3日撮影 (May 3, 1993)

### ②展望所

3階は展望所になっており、普賢岳<sup>ふげんだけ</sup>や火砕流の堆積状況など火山活動の実物を間近で見ることができます。

また、土石流を防止する砂防施設も間近で見ることができます。



普賢岳の様子が一望できます。



## ご利用案内

どなたでもご自由にご覧になれます。どうぞお気軽にご来場ください。



- 開館時間/9:00～16:30 (入館無料)
- 駐車場/P 大型車可 ♿ 対応
- 休館日/12月29日～1月3日
- 場 所/長崎県南島原市深江町・旧大野木場小学校よこ
- 所要時間/※島原外港より……車で約15分  
※島原駅より…車で約20分

お問い合わせ先

### 大野木場砂防みらい館

〒859-1505 長崎県南島原市深江町戊2100-1

TEL.0957-72-2499 FAX.0957-72-5633

### 国土交通省 九州地方整備局 雲仙復興事務所 調査課

〒855-0866 長崎県島原市南下川尻町7-4

TEL.0957-64-4171 (代表) FAX.0957-64-4127

http://www.qsr.mlit.go.jp/unzen/ E-mailアドレス:unzen@qsr.mlit.go.jp